

○ 単元（題材）について

■ 目標

- 工業生産や工業が盛んな地域の様子を調べ、工業生産に携わる人々が生産を高める工夫や努力をしていることを理解し、日本の工業の現状と課題を捉えることができる。
- 資料から、国民生活を支える工業生産の意味について、運輸と貿易の働きなどに関連させて考えることができる。

■ プログラミング教育の視点

- フローチャートを活用して情報を整理し、考えの根拠となった資料が適切かどうかを検証する活動を通して、論理的思考を育む。

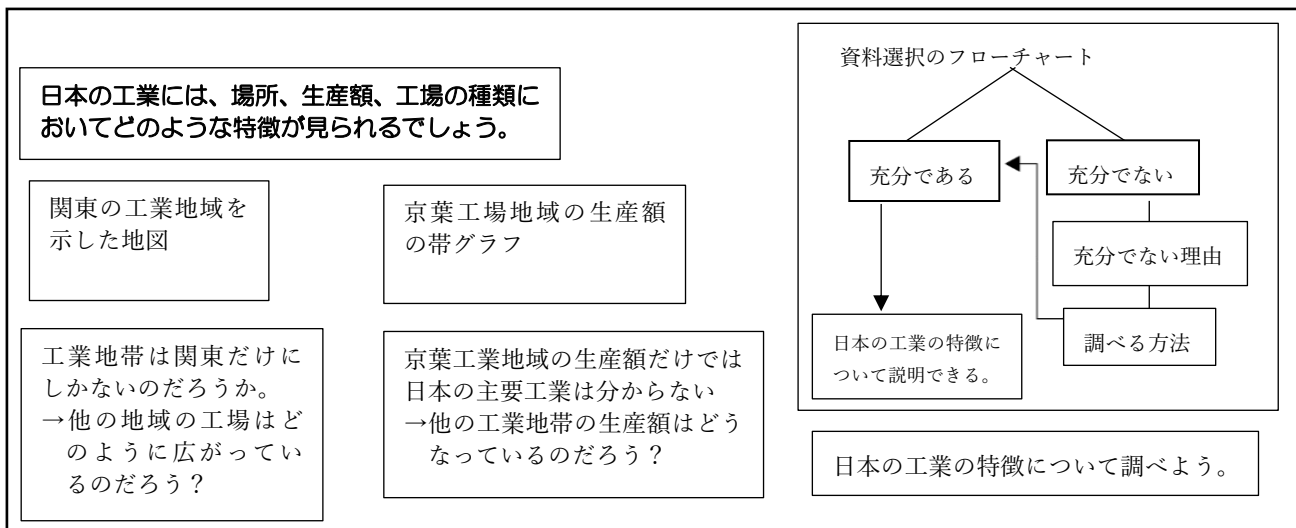
○ 指導計画

時間	主な学習活動	留意点
1 2 (本時)	○身の回りの工業製品から、身の回りの工業製品の種類について知る。 ○資料から日本の工業の特色について考え、学習計画を立てる。	・ 資料は、一部において情報が不十分である物をあえて用意し、どのような資料で補えるかを考えられるようにする。
3～5	○日本の工業の特徴を調べる。	・ 自分の予想を検証するために適した資料に着目した調べ学習を行う。
6	○学習を振り返り、日本の工業の特徴についてまとめる。	・ 予想を確かめるための資料が適切であったか、という観点から、振り返りを行う。

○ 備考 ← プログラミングソフト、タブレット、用具、環境、評価・評価方法、配慮事項などについて

- どのような資料をつかえば、不足する情報を補えるかを考えられるようにする。
- 関連図書資料を用意する。

< 板書計画 >



○ 本時について (2 / 6 時間目)

○ 本時のねらい

- ・日本の工業の特徴に関心をもち、資料から読み取ったことから日本の工業製品づくりについて調べる学習計画を立てる。

○ 本時の流れ

時間	● 主な学習活動	○ プログラミング教育の視点に立った留意点 ☆ 教科の評価 ★ プログラミング教育で育む資質・能力
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 既習事項を振り返る ● 学習のめあてをつかむ。 	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 日本の工業には、場所、生産額、工場の種類においてどのような特徴が見られるでしょう。 </div>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 示された資料を見て、日本の工業の特徴について述べた文章を読む。 ● 文章が正しく日本の工業の特徴を述べているかを検証する。 ● 示されている資料と文章を見比べて、資料が日本の工業の特徴をきちんと述べられているか、班で話し合う。 ● 日本の工業の特徴について、提示された資料から捉えることができるか、フローチャートをもとに確かめる。 ● フローチャートを使い確かめた結果をもとに、資料から分かることを整理する。 ● 予想が正しいかを確認するために、どのようなことを調べる必要があるかを考える。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>日本の工業の特徴</p> <p>日本の中にある主な工業地帯や大きな工場は、海沿いにしかありません。また、日本の工業全体では、化学工業が一番多く、2番目に金属工業、3番目に機械工業の生産額が多くなっていることが分かります。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料選択のフローチャートを示し、日本の工業の特徴を捉えるためには、提示された資料に加えて他にどのような資料が必要かを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 日本の工業の現状と課題を調べるために必要な資料を考えることができる。(知識・技能) ★ フローチャートを適切に活用して問題を発見し、それらを解決する方法を考えることを通して、論理的に思考している。(思考・判断・表現) ○ どのような情報があれば資料として活用できるかを話し合っってワークシートに書き込み、整理する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を根拠として示す場合は、その資料から得られる情報が資料として十分であるかを確かめる必要があることを確認する。